

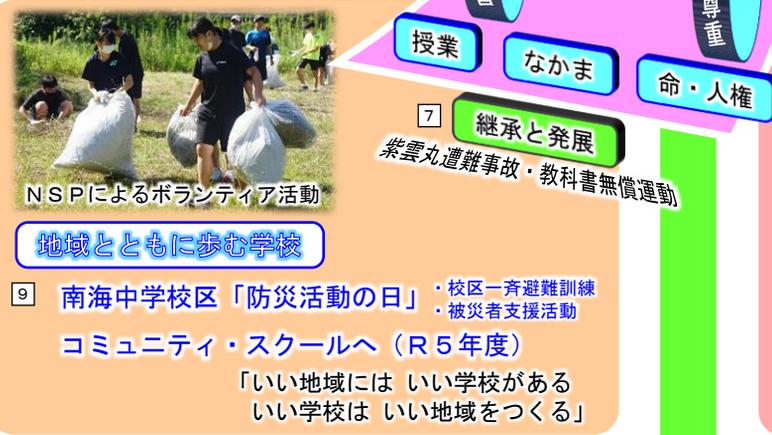


校訓
立命協生
志働命

1 学校教育目標 志を高く持ち、自他を尊び、なかまとともに歩む生徒の育成

教育大綱・教育振興基本計画・学習指導要領 ← → 学校経営理念・めざす学校像・教師像

4 数値目標
 学力 高知県平均超 不登校 高知県平均程度 体力・運動能力 全国平均超 進路 確定100%
 生徒：「南海中に入学してよかった」…90%以上 保護者：「南海中に入学させてよかった」…92%以上



- 重点的取組
- 12 学校力の強化
 - 13 学級経営の充実
 - 14 生徒との対話
 - 15 心と体を鍛える
 - 16 ICTの活用
 - 17 健康・安全な学校



3 研究主題 『学びを深める三あい活動』 ～ 聴きあい 伝えあい 学びあい ～

2 生徒の実態

① 学びあい学習や認め合う学級経営により、生徒どうしの仲がよく、互いに支え合い協力し合える関係がある。

② 紫雲丸遭難事故や教科書無償運動等の学習により、思いやりの心や生命・人権を尊重する心が育っている。

③ よく聴き、意欲的に参加するが、どの授業でも学習内容について深い学びができる状態には至っていない。

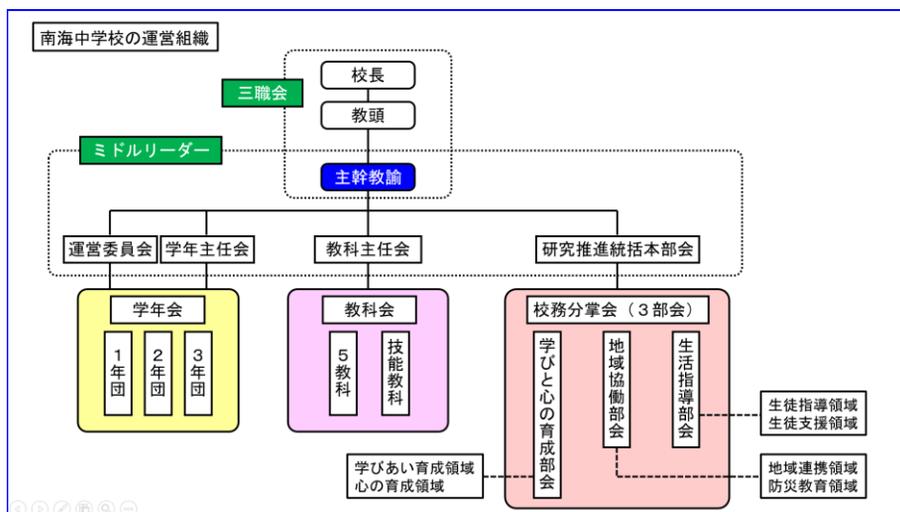
④ 家庭学習が不十分で、学習内容の定着に課題がある。

めざす生徒像

- ① 高い志を持ち、地域、社会、日本の未来をともに切り拓こうとする生徒
- ② 深く考え、相手に伝えることを通じて、学んだことを生かし、未知のことに対応していこうとする生徒
- ③ なかまとともに学び、互いに高めあう生徒
- ④ 自他の尊厳と生命を重んじる生徒
- ⑤ 健康な体に優しくたくましい心をもつ生徒
- ⑥ 南海中学校で学んでよかったと思える生徒

令和4年度（2022年度）高知市立南海中学校 学校経営グランドデザイン【解説】

項目	項目設定の理由説明
1 学校教育目標	本校で学ぶことで、自分も周りも大切に、将来に対して明るく豊かな展望を持つ生徒を育てたい。本校のあらゆる取組は、この学校教育目標の達成に集約されるものとなる。
2 生徒の実態めざす生徒像	生徒どうしの仲がよく、互いに支え合い協力できる本校の生徒は、学習面でも大きな潜在能力を秘めている。また、自他の尊厳と生命を重んじる経験と精神から、人や社会のために役立とうとする人材となりうる。高い志を持ち、深く考え、将来の予測が困難な時代を切り拓いていく、たくましい心と体をもった生徒を育成したい。
3 研究主題	授業で深い学びを体験することで、生徒はいきいきと思考し、判断し、表現し、未知のことに対応し、将来を切り拓いていく。聴きあい、伝えあい、学びあう授業や活動を通じて、すべての生徒の学びを保障する。
4 数値目標	生徒に希望する高等学校に進学できる学力を身につけさせることは、中学校の最も基本的な責務である。そのため、高知県平均を超える学力をめざす。不登校発生率を高知県平均並み、体力・運動能力は全国平均超をめざし、各種の取組を行っていく。また、地域の公立中学校として、生徒や保護者が「南海中学校で学んでよかった」と実感できることが本校の何よりの存在意義であり、9割の肯定的評価をめざして信頼を得ていきたい。
5 授業を高める授業で高める	聴きあい、伝えあい、学びあう授業では、教員と生徒、生徒どうしの親和的な関係がベースとなる。授業で認めあい、支えあう関係が築かれることで、それが多くの教育活動により影響を与え、さらに授業を高めることにつながる。なかまづくりや生徒指導の三機能を生かした、信頼と安心に基づく授業を進めていく。
6 いじめ・不登校・問題行動	魅力ある授業づくり、あたたかい絆づくり、居場所のある学級づくりによって、笑顔と活力にあふれ、そもそもいじめ・不登校・問題行動が生じにくい学校づくりを進める。また、事案が発生した場合には、組織で迅速に全力で対応する。特に、いじめや暴力は絶対に許さないという揺るがない認識のもと、高い意識を持った生徒を育てる。
7 継承と発展	本校は、紫雲丸遭難事故、教科書無償運動の発祥の地として、生命と人権を大切にしてきた学校である。その経験と精神を受け継ぎ、すべての教育活動の基盤とすることで、次世代を生きる人材を育てる糧としたい。
8 学びあいと人権学習を推進の両輪に	「授業」「命・人権」「なかま」を大切に、本校伝統の「学びあい学習」と「人権の尊重」を両輪として教育活動を行うことを、学校目標を達成する原動力とする。その2つをつなぐものは互いの信頼を築く「なかまづくり」である。生徒が地域や社会や人々を大切に、大切にされながら人生を歩んでいける人を育てたい。
9 地域とともに歩む学校	これからの教育は学校だけでは成り立たない。地域の公立中学校として、地域に貢献し、地域から支援していただける存在となる必要がある。そのために、地域と学校が協働して子どもを育てていく取組を推進する。また、令和5年度からの学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置に向けて準備を進めていく。
10 南海中に関わるすべての人を幸せに	生徒・保護者はもちろん、地域の方や教職員も、「南海中に来てよかった」「南海中の生徒がいてよかった」と感じることができる学校づくりを進めたい。そのためには、生徒の成長を実感すること、中学生が頼れる存在となることをめざしたい。すべての関係者が、生徒の成長を喜び合える学校でありたい。
11 ALL for ALL	これからの学校においては、すべての教職員がすべての生徒にあたるという認識が必要である。特に教科タテ持ちを生かすためには、学年を問わず学校の総力を挙げて生徒の育成に努めたい。また、特別支援学級を始め、特別な教育的支援を必要とする生徒の成長に、すべての教職員が高い意識をもって携わらなければならない。
12 学校力の強化	現在の学校には、教員が生徒と向き合える時間の確保や教材研究に全力を注げる環境づくりが必要で、教職員の資質・能力の向上に加えて、業務改善の促進が急務である。また、下の図のようなライン&スタッフ機能を充実させた組織体制により、各分掌が責任を持ち、有機的でバランスの取れた教育活動を推進していく。
13 学級経営の充実	学校において、生徒の活動を高め、確かな成長を促す基盤は学級経営にある。生徒の成長が見られ、生徒にとって居場所のあるあたたかい学級づくりを進めることで、学校教育目標にある生徒の育成を図る。
14 生徒との対話	すべての教育活動や心と心のふれあいは、生徒と教員との信頼関係に基づいている。生活日誌「あゆみ」を活用したり、二者面談等の教育相談機能を生かした生徒との対話を通じて、問題行動や不安行動を未然に防ぐ。
15 心と体を鍛える	道徳教育の充実や体力・運動能力の向上を図るとともに、部活動の活性化などを通じて、バランスのとれた心と体の成長を促す。また、食育の推進により、健やかな体に健全な心も育てる。
16 ICTの活用	電子黒板や生徒一人一人への電子端末、Wi-Fi環境の整備により、学校教育はかつてない変貌の時期を迎えている。学びあい学習と機器活用の相乗効果を高めることを念頭に、ICTの活用を積極的に進める。
17 健康・安全な学校	南海トラフ巨大地震・津波に対応する防災学習、新型コロナウイルスに対する安全衛生教育、その他生徒・学校を取り巻くあらゆる危機から守る活動等を徹底し、安心安全な学校生活を送ることができるようにする。



学校経営理念	地域の公立中学校としての使命感を持ち、教育によって未来を切り拓こうとする人材を育て、活力ある地域・社会づくりに貢献する
めざす学校像	① 人権教育をすべての教育活動の基盤として取り組む ② 保小中と地域が連携し、協働して地域の子どもを育てる ③ 地域とともに歩み、地域に貢献し、地域から期待され、信頼される学校となる
めざす教師像	① 教育に信念を持ち、学校運営と教育活動に組織として取り組む ② 生徒・保護者の立場を尊重し、相互の信頼を基盤として、次代の人材を育成する ③ 教職員どうしの和を大切に、絶えず前進する集団となる